

# 令和5年度 園内研修報告書

テーマ

園児が遊びこむための環境構成と援助の工夫

～地域文化と触れ合うことを通して～



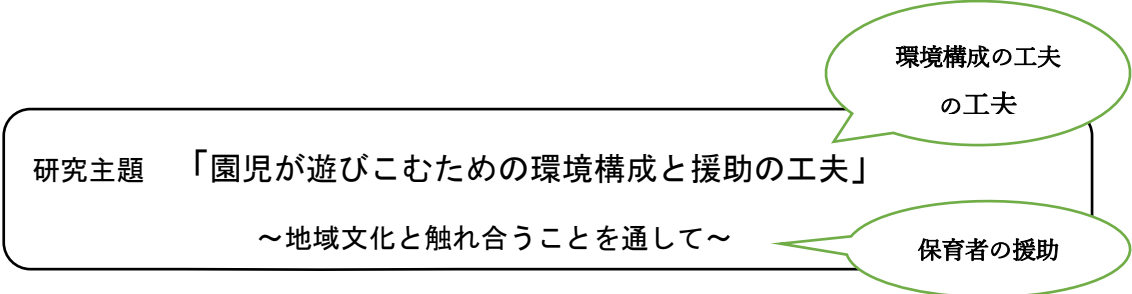
## 園内研修メンバー

園長	屋比久守			
副園長	名嘉紀勝			
主幹保育教諭	與那覇汐里	新垣千代美	奥間直美	
教諭	久米由美子	知念茜	島袋七海	松本日向子
	金城早希	宮良尚子	野原ちあき	大城早苗
	沢里京将	新垣大貴		

南城市公私連携幼保連携型認定こども園 玉城こども園

## 目 次

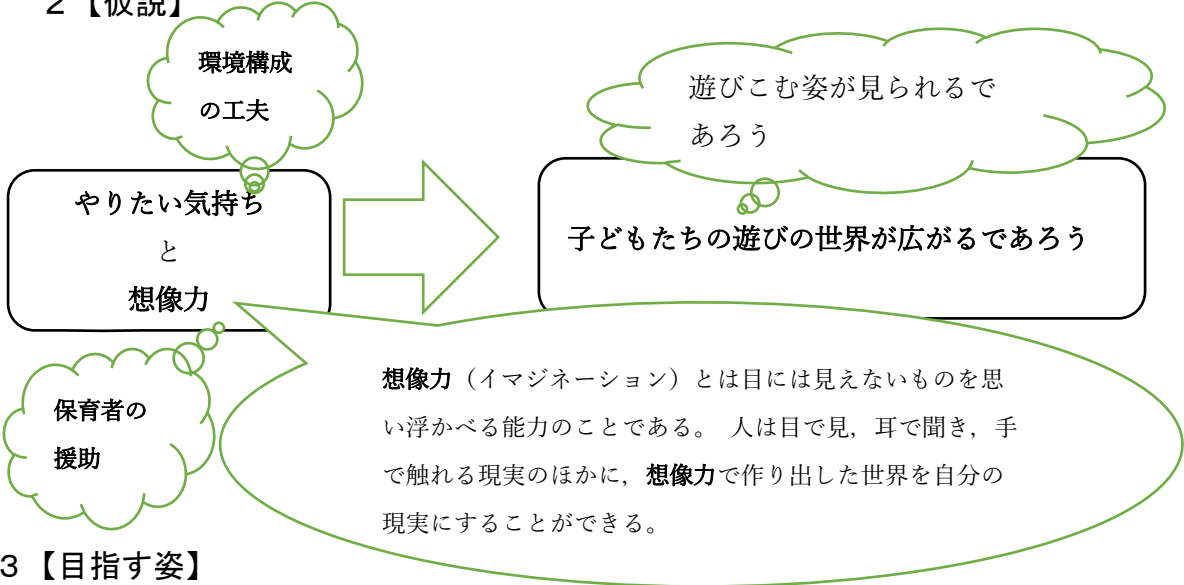
1	園内研修視点	1
2	園内研修仮説	1
3	目指す姿	1
4	保育のなかで伝統文化継承を取り入れる際の基本的な考え方	1
5	遊び込む姿と環境構成・教師の援助；3・4歳児	2
	遊び込む姿と環境構成・教師の援助；5歳児	3
6	子どもたちの成長を取り巻く視点（5領域・10の姿・3本柱の関連）	4
7	実践事例	
	事例1 色水遊び 色が出るのが不思議だね	5
	事例2 ハーリーってカッコいい	9
8	成果・課題・対応策	13



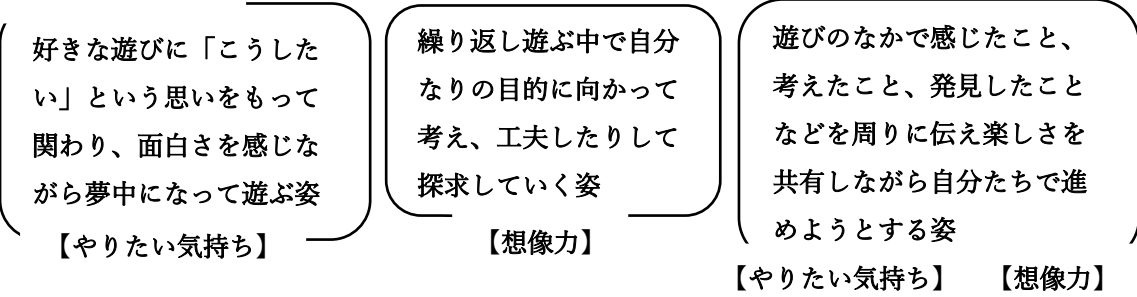
1 【視点】

園児が「もっとやりたい、またやりたい」と思えるための保育者の援助のあり方

2 【仮説】



3 【目指す姿】



4 【保育のなかで伝統文化継承を取り入れる際の基本的な考え方】

保育園、幼稚園、こども園等では、これまでも伝統文化を経験することを大切に考え、保育に取り入れてきた。ただ、これまでは「伝統行事」が活動の中心であった。伝統行事の中には、時期が決まっているものが多く、毎年同じ時期に同じ行事を行うことになり、伝統行事を保育のなかで扱う目的や意義について十分に検討されていないことが多かった。また、これら伝統文化の継承については、実生活のなかでほとんどの家庭で行われることがないのが現状である。

そこで、本園では、伝統行事を含めた単に伝統文化を経験するだけでなく、それが遊びの発展につながるように、また今後、子どもたちが継承の担い手の一助になるよう、保育の中で取り入れる意義・目的を検討し、手立て（環境構成、保育者の援助）について、しっかり検証していきたい。

## 5 遊び込む姿と環境構成・保育者の援助

### 【3・4歳児の遊びこむ姿】

### 【環境構成】

### 【保育者の援助】

<p>① 興味・好奇心</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなことに興味をもっている姿</li> <li>・傍観しながら遊びに参加する姿</li> <li>・なぜ？何？と疑問をもつ姿</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○園児が興味を持っていることを取り入れた環境</li> <li>・遊ぶ用具の準備（シャベル、スコップなど）</li> <li>・桶に水を入れて準備する</li> <li>・ままごとと用具を準備する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幼児の思いを受け止め見守る</li> <li>○遊びの振り返りをする時間をもつ</li> <li>・朝の会で今日の遊びの導入をする</li> <li>・帰りの会で今日の楽しかったこと、遊びで工夫したこと、お友達と力を合わせたこと等を発表する機会を設ける</li> </ul>
<p>② してみようとする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりに遊んでみる姿</li> <li>・自分がしたいことを選んでする姿</li> <li>・いろいろなことをしてみようとする姿</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自由に遊びを楽しむことができる環境</li> <li>・ままごと（カップ、葉っぱ等を準備する</li> <li>・虫かご、図鑑、虫取り網を取りやすい場所に置く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教師も一緒に遊びを楽しむ</li> <li>○幼児の思いに寄り添い、共感したり、提案したりする</li> <li>・教師も一緒に遊び、面白さが存分に感じられるようにする</li> <li>・保育者も一緒に虫の名前を調べたり一緒に観察したりして子どもに共感する</li> <li>・虫好きな子をリーダーとして、友だちとイメージを共有できるように声かけをする</li> </ul>
<p>③ 繰り返し遊ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試したり工夫したりして遊びを展開していく姿</li> <li>・繰り返し遊ぶなかでいろいろなことに気づく姿</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○遊びを引き続き楽しめる環境</li> <li>○試したり工夫したりできる用具や材料の準備をする</li> <li>・展示する場所を決めて明日の遊びがつながるようにする</li> <li>・室内、室外の観察できる場所を決めておく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○繰り返しあそぶことができる時間や場の確保</li> </ul>
<p>④ 主体的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分から進んで遊びに取り組む姿</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○興味をより深められる環境（絵本や図鑑）</li> <li>・園児が主体的に遊べるように用具の置き場所を固定し遊びやすい環境をつくる</li> <li>・図鑑をコピーして掲示したり、虫眼鏡を準備しておく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○園児の思いに共感する</li> <li>・帰りの会で発表の場を設ける</li> </ul>

【5歳児の遊びこむ姿】

【環境構成】

【保育者の援助】

<p>① 興味・好奇心</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ？何？と興味や関心をもつ姿</li> <li>・好奇心をもって自分から関わる姿</li> </ul>	<p>○視覚的な刺激となる環境（絵本や写真など）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本や図鑑ですぐに調べることができるように置き場所や掲示の仕方を工夫する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者も一緒に調べたり、調べたことを掲示する</li> </ul>
<p>② 目的をもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりに目的をもって遊ぶ姿</li> </ul>	<p>○目的を持てるような環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事に向けて目標達成ができるような掲示物の作成。例えば、縄跳びや竹馬等のチャレンジカードを用意する</li> </ul>	<p>○クラスで遊びの話題の共有、話し合いをする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できた時には、褒めてあげ保育者も一緒に喜んだり友だちの前で披露する場をもつ</li> </ul>
<p>③ 試行錯誤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな方法で、試したり工夫しながら遊ぶ姿</li> </ul>	<p>○選択できる用具、材料の用意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な素材の用意。コーナーや配置場所の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々と試したり工夫している姿を認めつつ、困った時には一緒に考える</li> </ul>
<p>④ 持続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夢中になって遊ぶ姿</li> <li>・一つの遊びが継続する姿</li> </ul>	<p>○遊びが継続できるような環境の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制作した物を壊さず、次の遊びにつながるように保管場所の確保</li> </ul>	<p>○一緒に考えたり、考えるためのヒントをタイミングよく出したりする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表の場を設け他の園児にも興味歓心を持たせるように声かけをする</li> </ul>
<p>⑤ 人との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちと思いを伝え合う姿</li> <li>・友だちと協力する姿</li> </ul>	<p>○友だちと協力しあえる材料の大きさや数の準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・十分に遊べるように時間を確保する</li> </ul>	<p>○保育者も友だちの一員となって一緒に遊ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちと思いを伝えることができる場を多くもつようにする</li> </ul>
<p>⑥ 主体的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のしたいことに自信をもって取り組む姿</li> <li>・自分の思いを伸び伸びと表現する姿</li> </ul>	<p>○したいことが自由にできる環境</p> <p>○興味を深められる環境（絵本・図鑑）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園児が主体的に遊べるように用具の置き場所を固定し遊びやすい環境をつくる</li> </ul>	<p>○自由に思いを出したり、表現したりできる空間、雰囲気をつくる</p>

# 6 子どもたちの成長を取り巻く視点

5領域・10の姿・3本柱の関連



7 実践事例1 色水遊び 色が出るのが不思議だね(4月～) 玉城こども園 4歳児

幼児の実態 ・草花に興味を持つ園児が少ない。  
・色水遊びを楽しんでいる年長さんを真似て、ビニール袋に植物・水を入れてみる園児がいる。  
保育者の願い・草木に触れ、遊びに取り入れることで、たくさんの発見や驚きを経験してほしい。

幼児の姿

年少からの進級児や年長さんがビニール袋に花を入れて色水遊びをしている姿を見て、「やってみたい」と真似をする園児が出てきた。摘んだ草花を袋に入れて水を入れることを楽しみ、色が出なくても満足している様子だった。草花をレンガや石で潰してみたり、バケツの中で混ぜてみたりと思いつきに遊ぶ姿から、色水コーナーの環境を整えていくことにした。

(1)4月中旬

進級児や年長児が袋で色水を作って遊んでいる姿を見て、「やってみたい」「先生ビニール袋ちょうだい」と真似て遊ぶ園児が増えてきた。園庭で目についたのかシロツメクサや芝生をちぎって入れる園児もいた。(思考力の芽生え・自然との関わり)

シロツメクサ入れてみたけど、あんまり色が出ないな。白色になると思った。



つめたくて気持ちいい～  
全部青色に見える！すごい！



お姉ちゃんにやりかた教えてもらった！

もみもみしたり、しゃかしゃかしたら色が出たよ！

年長児がきれいな色水を作っているのを見て、挑戦する園児が増えてきた。始めはやり方が分からず、袋に水と草花を入れるだけで終わってしまい、遊びが広がらないためやる園児も減ってしまった。繰り返し遊んでいるうちに揉みこんだり振っていると色が出てくることを発見した園児がいたり、年長児に「花をつぶしたら色出てくるよ」と教えてもらって、色を出す方法に気づいてからは遊びの輪が広がっていった。

「なんで年長さんの色水は色が出るのかな？」と問いかけると「じゃあ、聞いてみよう！」と言って方法を聞きに行くことが出来た。また、やり方を友達や年少児に教えてあげる姿が見られた。出来たことや自分で発見したことを他児とたくさん共有してほしいな。

(2)4月下旬

袋での色水遊びから遊びが変わり、砂場用の道具やレンガや石を使って草木をつぶして遊ぶことが増えていった。園庭に生えている草木だけでなく、落ち葉や水草、土を水と混ぜて様々な料理に見立てて遊びを楽しんでいた。

(協同性・自然との関わり・言葉による伝え合

い)

落ち葉でスープを作ろう！赤い葉っぱだから、赤になるはずよ。



じゃあ、黄色い落ち葉も入れてみよう。そしたら色変わるんじゃない？

ホテイアオイを入れてつぶしたら、透明な汁が出てくる。へんなの～



どろどろ～混ぜるの大変だよ。なんか匂いもする。

なんかチョコレートみたいね

花は色水にするとそのままの色が出るものが多いが、落ち葉や水草などは見た目の色と違う汁や色が出ることに気づいて驚いていた。種類によっては粘り気があり「ねちゃねちゃするし、くさい」「なんかどろどろ」など違いにも気づいて、様々な草花を試して遊ぶ姿が見られた。

だんだんと植物に興味が出てきた！このまま、遊びが発展してほしい。色水遊びの出来る環境を整えていきたい。

(3)4月25日

年中クラス側の花壇に花の球根や種を自分たちで穴を掘って植えた。「大きくなりますように」と声をかけながら植え、じょうろでやさしく水やりをしていた。(協同性・思考力の芽生え・自然との関わり)

花の赤ちゃん。  
ガサガサしてるし、重いし。



いっぱい水ないと枯れちゃうよね。明日生えてくるかな。

植物を自分たちで植えることで、毎日進んで水やりをしたり、観察をしたりと興味を持つきっかけになった。

(4)5月中旬

年中側の園庭に色水コーナーで少しずつ道具が揃ってくると、「なにに使うの?」「このごりごりするの(すり鉢)離乳食作るやつだよね」とすぐに興味を示していた。保護者から家庭で不要になったタッパーなどの容器や製氷皿を提供してもらったため、「これ(製氷皿)氷作るものだよね」「じゃあ、花の氷作れるってこと?やったー」と遊びを想像して笑顔な園児。

様々な花をすり鉢ですり潰し、容器に入れて水と混ぜて遊んでいた。製氷皿に作った色水を入れて、「早く氷にならないかな」「明日は氷も混ぜてジュース作るよ」と明日の遊びを楽しみにしている。

(思考力の芽生え・自然との関わり・言葉による伝え合い)



(すり鉢で)ごりごりするの楽しい～

色水で黄色の氷にしようよ!



ちぎった花も入れたら、めっちゃ可愛いよ♪

色水遊びで使いそうな容器の提供を保護者に声掛けすると、タッパー・製氷皿・コップ・グラス・醤油さしなど様々な容器が集まった。作った色水を容器に移し替えてジュースに見立てて遊んだり、製氷皿に作った色水を入れて凍らせたりと、遊びが広がった。

「明日も色水したいね」と今日の遊びが明日の遊びに繋がってほしいな。



色水を凍らせることを楽しむようになり、ビニール袋やビニール手袋、トレーなど様々な物に入れて凍らせて楽しんでいた。

でっかいピンクの氷にしたいからさ。花も並べたらかわいいよね



氷と混ぜたら冷たい！もう氷溶けてなくなってきた～



手洗い用に準備していたポンプの泡石鹸を見て、「先生！色水に石鹸も混ぜたい！」と一人の園児が遊び始めたことから、石鹸を使う園児が出てきた。花と混ぜて色付き石鹸を作ってみたり、作った色水に泡を浮かべ、ドリンクに見立てて友達や先生に振舞っていた。

(思考力の芽生え・自然との関わり・言葉による伝え合い)

なんか石鹸が沈まない。ずっと上にあるよ



変なの～。ちよ  
うまめなのに青  
じゃなくて紫に  
なった。



クリームジュースはいかがですか？おいしいですよー



「今日は青色の水作ろーっと」「いろいろな花入れて実験しよう」と毎日色水遊びを楽しむようになってきた。「今日は色水で氷を作って、明日はジュース屋さんになりたい！」「先生知ってる？色水って置いといたら、色変わるんだよ」と明日の遊びに繋がっていった。

### (6)9月後半

お招き会で、沖縄南部で絵画教室を開いている保護者の方を講師に招いて、祖父母と一緒に障子紙染めの製作を楽しんだ。障子紙を小さく折りたたんで水に浸し、様々な色の絵具を自由につけて個性あふれる作品に仕上がった。翌週、お招き会の思い出話で盛り上がる中、「絵具みたいに色水でも出来そう！」と一人の園児のつぶやきから、「やりたい」と興味のある子が集まった。

(思考力の芽生え・自然との関わり・言葉による伝え合い)

### お招き会



これまで、コピー用紙、コーヒーフィルター、布はぎれなど様々な物を色水につけて遊んでいたが、満足するほど染まらず、すぐに飽きてしまった。「障子紙なら出来るかも！」という発想から試してみることになった。



すり鉢でゴリゴリするの楽しいけど、手が疲れる～

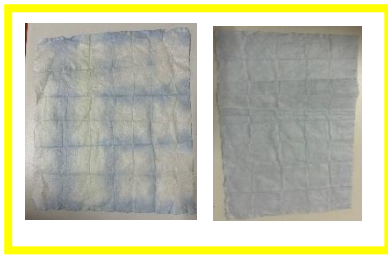


青がいっぱい。うすいのと濃ゆいのがある。



園外散歩で集めた植物も合わせて14種類の絵具が出来た。

染めるのは慎重に…



黄色い色水でや  
ったのにあんま  
色出てない…



なんか匂いしたら  
くっさーい!!!  
葉っぱの匂いだ!



乾かしてみてもびっくり。青色以外はほとんど色味が出ず、落ち込む園児もいた。完成したものをそのまま持ち帰ったり、個人の自由帳に貼ったり、折り紙のように折って花を作り製作にしたりと楽しんでいた。

### 【考察】

・色水遊びを通して自然と関わることで、身の回りの植物に興味を持つきっかけになり、植物を使った遊びの楽しさや驚きへの気づきにつながったと考える。

### 成果と課題

#### 【成果】

・子ども達は、日頃から園庭の植物を使って色水遊びを楽しんでいる。季節によって植物が変わるたびに発見や驚きがあったり、色水を氷にしたり紙を染めたりと遊び方が無限大で、好奇心や探究心が高まってきた。

#### 【課題】

・色水遊びをきっかけに植物に興味を持つことが出来たが、そこから植物自体への関心・知識を深めることが出来なかった（植物の名前など）。

#### 【まとめ】

・身近な植物を活用した色水遊びから、障子紙染め製作を楽しむことができた。障子紙染め製作の際は、絵の具を使って染めを楽しんだが、そこから遊びが発展していった。園内外の草花の色水を使って障子紙染めに挑戦した。現在、5歳児が、園庭のレンガを細かく砕いて遊んでいる姿が見られるが、今後、5歳児、小学校と年齢が上がった時に、植物だけでなくこのレンガを細かく砕いたもの、泥水など色々なもので染物ができることに繋げる。また、そこから沖縄の伝統的な染織物である、「紅型染め」「首里織」「琉球絣」、「ウージ染め」について知り、興味関心を持てるような実践を園として継続していきたい。

レンガとレンガをぶつければ、こまかくなるよ！  
でも、めっちゃ硬い！



砕いたレンガの粉で  
ジュース作り！トマト  
ジュースみたいでおい  
しそう～

幼児の実態 ・玉城の伝統行事であるハーリーを地域の子ども会でも練習している。  
 ・奥武島以外の園児は詳しくは知らない。  
 保育者の願い・地域の行事への関心や大事にしていこうという気持ちにつながるといういな。

幼児の姿

近年コロナ禍で地域行事が滞っていたが、4年ぶりに奥武島ハーリーが開催されることで地域の子ども会でも練習が始まった。奥武島に住んでいる園児たちから遊びが始まり製作、ごっこ遊び等様々な遊びに広がった。そこで園児の興味関心を高めハーリー遊びがより広がるために奥武島在住、理恵子先生にハーリーの講話とハーリー見学をお願いした。

(1) 6月9日

絵本を広げながらハーリーの話をする園児。今年は4年ぶりに奥武ハーリーが開催することで、楽しみにしている。子ども会でも練習が始まったと友達に嬉しそうに話をする。(言葉による伝え合い)



かっこいいな

早くハーリーの日に  
ならないかな

いいな～船に  
乗ってみたいな

お父さん筋肉むき  
むきなってる。

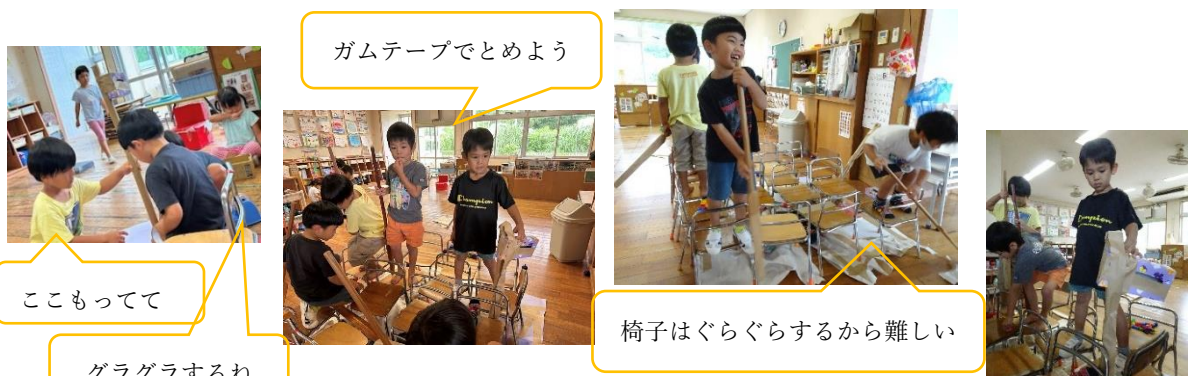
朝の会でもハーリーの練習したことを楽しく発表する園児が増えてきた。練習に参加していなくて情報がない園児には、絵本や大型紙芝居、YouTubeを見せたりして、だんだんとハーリーに興味を示してきた。

「先生も見てみたいな」「漕ぐ練習もしているの」と投げかる。他園児と共有できたらいいな。

(2) 6月12日

ハーリー船にみたてた遊びが盛んになる。椅子をたくさん並べ新聞紙を敷いて海にみたてた。イメージを出し合いアイデアを認め自分たちでハーリー船を作る遊びへと繋がっていった。「みんな～船にのっていいよ」と友達を誘い、近くで他の遊びをしていた園児も集まってきた。

(協同性、思考力の芽生え、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現)



ガムテープでとめよう

ここもってて

グラグラするね

椅子はぐらぐらするから難しい

(3) 6月13日

T児「椅子は動いて危ないから段ボールでハーリー船作ろう」

Y児「段ボールをくっつけて長くしよう」「部屋がせまくて動かすの難しい」

保育者「かっこいい船つくれたね！広い海でハーリーはやるんだよね、がじゅまるの部屋は広いけど、みんなはどう思う？」

Y児「いいね♪次は広い場所で漕いでみよう～」

S児「※エークをもっていこう」(豊かな感性と表現、言葉による伝え合い、思考力の芽生え、協同性)

ハーリーに興味をもっている仲間が中心となり他園児が集まってきた。



前にすすめ～



部屋がせまい、ぶつかる



出発！進行～！

遊んでいくうちに「先生、ハーイヤッってエイサーだね」等園児は疑問がでてきた。エークの漕ぎ方やかけ声など詳しく押しあげたいな。

(4) 6月16日

奥武島に住んでいる中村理恵子先生が頭に鉢巻を巻いて鐘をカーン、カーン、カーンと鳴らしながらの登場。「観音堂に祭られている仏像様」について話を聞く。(社会生活との関わり)



サーッサ！サーッサ！

かけ声は「サーッサ」  
だったんだね



手の持ち方がむづかしい

片手では持てない

舞台でのエークの練習が楽しくて「アンコール、アンコール」と盛り上がりを見せた。講話が終わり質問タイムでは・・・

H児「海はこわくないですか」Y児「落ちても危なくないですか」

M児「1番になったら賞品ありますか」(社会生活との関り、言葉による伝え合い)

本物のハーリーを見たい！！と盛り上がり実際に見学行くことが決定した♪

楽しかった～毎日練習したいな、またきてほしい。



地域の方への親しみも深まり、楽しい体験を通して新しい遊びがうまれたり深まったりしてほしいな。

(5) 6月21日

ハーリー当日、バスに乗り年長児全員奥武島へ移動。「遠足みたい」「みんなで出かけるの楽しいね」と楽しい会話が聞こえる。会場に着くと、これから始まるハーリーにわくわく期待している子ども達。(社会生活との関わり、言葉による伝え合い)



「俺たちも競争したい」「ゴールする場所も決めよう」バスの中では迫力ある姿に感動し興奮している園児が、ハーリー船の勝負をしようと話し合う姿が見られた。

自分の住む地域の行事への関心や大事にしていこうという気持ちにつながるといういな。

(6) 6月22日

園児がいつでも遊べるようにハーリー船は手に取りやすい場所に置いてある。T児、S児「ハーリー勝負したい人！中庭に集まって〜」と子ども同士で声を掛け合ってチームやゴール場所を、話し合いで決めていく姿が見られた。周りで見ている子には「応援していてね」と声をかけ、また他のクラスの園児が「いいな〜仲間に入れて〜」と集まってきた。チーム変更をしてクラス対抗戦に発展した。(健康な心と体、自立心、協同性、言葉による伝え合い)



ハーリー船を製作し部屋に置いていたが、奥武ハーリーを見学し、友達と勝負したい気持ちが出てきた。「外で競争楽しい」「エークはないけどハーリーみたいで面白い」満足している姿が見られた。

遊びと並行して園児とドキュメンテーションを作成して掲示した。



園児が吹き出しにコメントをかくことで思いが直球で伝わってきた。折り紙や絵を描いたり保育者が作成するドキュメンテーションより楽しい雰囲気が伝わり、園児の振り返る時間が増えた。(言葉による伝え合い、豊かな感性と表現)

(7)6月28日

2、3人の園児が、自由画帳にハーリーを描いている姿を見て「大きな画用紙にもっともっと大きなハーリー船を描きたい」と周りにいた園児も集まってきた。クラスだけでなく伸び伸び描けるように大広間(がじゅまる)を使った。(豊かな表現と感性)



暑かったからキラキラ太陽かこう。



おれのお父さんかっこよかったな～

「船にたくさん大人がいたよね」「お祭りみたいだった」と意欲的に取り組み、伸び伸び表現する姿が見られた。

(8)6月29日

毎日夏野菜を収穫する園児。昨日描いた絵に『野菜スタンプ』が始まると予測した。畑にいる園児から「今日はオクラがたくさんとれたね」「大きなオクラはスタンプにしよう」と自分のイメージしたことを友達に言葉で伝え合う姿が見られた。

(豊かな感性と表現、言葉による伝え合い、数量や図形への関心、思考力の芽生え、自然との関わり)

絵が苦手な園児もスタンプ遊びをしながら楽しく描いていた。



どんな模様にしようかな

かんせ～い♪



その色いいね

2つまぜたよ



真似していい?

いいよ♪

『おくら』がいっぱい。大きいのはスタンプしたい。

これからも身近にあるものを使って工夫し遊べたらいいな。  
経験したことが今後の遊びや自信につながりといいな。

(9)7月上旬～7月下旬

段ボールでハーリー船を作って遊んでいた園児から「大きな段ボールで秘密基地を作りたい」「めっちゃ大きな海賊船も作ろう」と子ども達同士で話し合いが始まった。

(健康な心と体、協同性、思考力の芽生え、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現)



冷たくて気持ちいい

「段ボールに色をつけて可愛くしたい」と絵の具を使って思い思いに遊びこみ充実感を味わっている。



### 【考察】

・玉城の自然環境と奥武島の伝統行事に十分に知り心動かせる体験をすることで、充実感や感動を味わい様々な気づきにつながったと考える。

### 成果・今後の取組

#### 【成果】

・奥武島に住んでいる園児が子供会を通してハーリーの練習し、興味関心を持ち他園児に遊びが広がった。  
・奥武在住の先生が講話することで園児の興味、関心が深まった。  
・友達同士関わりながら色々なアイデアが生まれ、夢中になって遊ぶころにつながった。  
・クラスでドキュメンテーションを作成したことで、一緒になって考え楽しみ振り返る時間をつくれた。

#### 【今後の取組】

・保育者がアンテナを高くして、子ども達が地域文化に対してどの様に興味関心を持っているのか、声を拾い遊びに展開する。



### 【事例2の考察】

- 玉城の自然環境と奥武島の伝統行事に十分に関り心動かせる体験をすることで、充実感や感動を味わい様々な気づきにつながったと考える。
- 奥武島に住んでいる園児が子供会を通してハーリーの練習し、興味関心を持ち他園児に遊びが広がり、ハーリー競争や海賊船作り等へ発展し遊びこむ姿につながった。
- 絵本やYouTubeの活用、奥武在住元職員の講話、ハーリー見学等をしたことで園児の興味、関心が高まり、遊びが深まったと考える。

## 8 成果・課題・対応策

### 【成果】

- 園児や保育者が地域や園にある自然物に目を向けるようになった。
- 友達同士関わりながら協力したりアイデアを出し合ったりしながら夢中になって遊ぶようになった。
- クラスでドキュメンテーションを作成したことで、一緒になって考え、楽しみ、振り返る時間を共有したことでさらに遊びが深まった。

### 【課題】

- 保育者間で事前に地域文化に対する子ども達の興味や関心を捉える必要があった。

### 【改善策】

- 保育者がアンテナを高くして、子ども達が地域文化に対してどの様に興味関心を持っているか把握する。
- 保育者が地域の自然や文化に目を向け、保育実践への活かし方を更に学んでいく。

